

# シラバス検索 照会画面

シラバス検索画面    結果一覧画面    照会画面

## シラバス情報

### 授業情報

|                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| 授業コード Course Code                    | 2KC2026501  |
| 授業開講年度 Year of Class                 | 2018年度  |
| 授業形態 Course Mode                     | 講義  |
| 授業名称 Class Name                      | 憲法2-2   |
| テーマ Theme                            |   |
| 代表科目名 Name of Representative Subject | 憲法2-2   |
| 履修期 Term                             | 秋学期   |
| 教員氏名 Name of Teacher                 | 宮地 基  |
| 開講キャンパス Campus                       | 横浜  |
| 曜日 Day and Period                    | 月曜2時限(秋学期)  |
| 授業概要 Course Description              | この講義では、憲法訴訟論を主に扱います。基本的人権も法的な権利である以上、その侵害に対して究極的には裁判を通じた救済が必要になります。授業では、まず違憲審査制度が生み出された歴史的背景と、現代におけるその存在意義を学んだ上で、各国の違憲審査制度を比較して日本の違憲審査制度の特徴を明らかにします。そのあと、実際に違憲審査が行われた様々な判例を取り上げて、そこに現れる問題点について考察することを予定しています。   |
| 学習目標 Class Goals                     | 日本では、人権侵害に対する救済を求める特別の訴訟形態は存在しないので、通常の刑事、民事、行政事件の裁判を通じて、人権侵害の有無、その救済手段が審査されます。このように、通常の裁判の中で人権侵害その他の憲法違反が問題となった場合に、特に検討しなければならない様々な問題を一括して「憲法訴訟論」と呼びます。この授業では、多くの判例の分析を通じて日本の憲法訴訟の特徴と問題点を理解することを目標としています。   |
| 授業計画 Daily Class Schedule            | <p>授業計画は以下の通りです。ただし、新たに制定された法令や新しく下された判例を扱うため、あるいは現実の憲法政治の変動に対応するために、計画を変更することがあります。</p> <p>【第1回】 講義案内、参考文献紹介<br/> 【第2回】 違憲審査制度(1)<br/> 【第3回】 違憲審査制度(2)<br/> 【第4回】 司法権の限界(1)<br/> 【第5回】 司法権の限界(2)<br/> 【第6回】 違憲審査の対象(1)<br/> 【第7回】 違憲審査の対象(2)<br/> 【第8回】 違憲主張の利益<br/> 【第9回】 司法積極主義と司法消極主義(1)<br/> 【第10回】 司法積極主義と司法消極主義(2)<br/> 【第11回】 合憲性審査基準論<br/> 【第12回】 違憲判決の方法と効力<br/> 【第13回】 違憲審査の実際(1)<br/> 【第14回】 違憲審査の実際(2)<br/> 【第15回】 まとめと学期末試験</p> |
| 予習 Preparation for Class             | 毎回の授業前に、e-learningシステムを通じて予習の課題を提示します。復習課題とあわせて期限までに半分以上の課題を提出した人には、成績評価で10点以内の加点をします。期限内に提出できなかった人も、定期試験前にすべての課題をもう一度やり直してみてください。定期試験対策として必ず役立ちます。   |

|                              |  |
|------------------------------|--|
| 復習 Review of Class           | 毎回の授業終了後に、e-learningシステムを通じて復習の課題を提示します。予習課題と同様、全体の半分以上提出した人には、成績評価で加点します。定期試験前には、期限内に提出できなかった課題も含めて、もう一度やり直してみてください。                              |
| 授業に関する注意事項 Remarks for Class | 授業では、できるだけ多くの判例を紹介するために、理論的な説明は簡略にとどめます。受講者は、各自で教科書・参考書を通読して、体系的な理解に役立ててください。  |
| 教科書 Texts                    | 戸松秀典・初宿正典『憲法判例(第7版)』(2014 有斐閣)<br>浦部法穂『憲法学教室(全訂第3版)』(2016 日本評論社)   |
| 参考書 Reference Books          | 開講時に指示します。<br>授業の資料はe-learningシステムを通じて配布します。   |
| 成績評価の基準 Evaluation Criteria  | 学期末試験の成績(100%)によって評価します。<br>ただし、e-learningシステム上で提示される課題を半分以上提出した人には、10点以内で成績に加点します。<br>定期試験は100点満点で行いますから、課題の提出は必須ではありません。半分以上提出した人には追加の加点があるだけです。 |
| 関連URL Related URL            |  |
| 備考 Notes                     | この授業は、法学部の教育目標に沿って、憲法に関する正確な法的知識と、能動的な市民として直面することになる憲法問題に弱者の立場に立って対応する能力を養うことを目的としています。  |
| 添付ファイルの注意事項 Notice           |  |
| 更新日時 Date of Update          | 2018年03月15日 10時04分37秒  |

戻る(X)

# シラバス検索 照会画面

シラバス検索画面    結果一覧画面    照会画面

## シラバス情報

### 授業情報

|                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| 授業コード Course Code                    | 2MC2119000  |
| 授業開講年度 Year of Class                 | 2018年度  |
| 授業形態 Course Mode                     | 演習  |
| 授業名称 Class Name                      | 3004演習2B  |
| テーマ Theme                            |   |
| 代表科目名 Name of Representative Subject | 3004演習2B  |
| 履修期 Term                             | 秋学期   |
| 教員氏名 Name of Teacher                 | 森本 泉  |
| 開講キャンパス Campus                       | 横浜  |
| 曜時 Day and Period                    | 月曜2時限(秋学期)  |
| 授業概要 Course Description              | <p>ツーリズム現象とは何か。具体的な事例を多元的にとらえ、他の社会現象と関連付けながら考察することを目指します。ツーリズムに関する文献講読を通して、ツーリズム現象について理解をより深めていきます。今年度はモビリティに関する文献を取り上げる予定です。演習時の講読・議論と並行して、各自で研究課題を設定して調査・研究を進め、年度末には1万字程度のゼミ論文としてまとめます。現地に出かけて観察し、調査するフィールドワークが必須です。なお、ゼミ論をもとに卒業論文に発展させていくことを想定しています。</p>   |
| 学習目標 Class Goals                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文献講読をすることで「読み」、「考える」能力を鍛える。</li> <li>・自分の考えを的確に口頭・文書で他人に伝える(「書く」)能力を向上させる。</li> <li>・基礎的な作文作法を習得する。</li> <li>・ツーリズム現象について理解を深める。</li> </ul>   |
| 授業計画 Daily Class Schedule            | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 導入</li> <li>2 作文作法1</li> <li>3 作文作法2</li> <li>4 文献講読1 第1章 社会生活のモバイル化</li> <li>5 文献講読2 第2章 「モバイル」な理論と方法</li> <li>6 文献講読3 第3章 モビリティーズ・パラダイム</li> <li>7 ゼミ論中間報告</li> <li>8 文献講読4 第4章 踏みならされた道、舗装された道 第5章 「公共」鉄道</li> <li>9 文献講読5 第6章 自動車と道路になじむ 第7章 飛行機で飛び回る</li> <li>10 文献講読6 第8章 つながる、想像する 第9章 天国の門、地獄の門</li> <li>11 文献講読7 第10章 ネットワーク 第11章 人に会う</li> <li>12 文献講読8 第12章 場所 第13章 システムと暗い未来</li> <li>13 ゼミ論中間報告</li> <li>14 ゼミ論中間報告 ポートフォリオ、ゼミ論提出</li> <li>15 総括</li> </ol> <p>文献講読の担当者以外は事前に書評を作成して演習時に提出すること。<br/>演習最終日には学期中に提出した課題をふくめ、学習目標に照らして自己評価してもらいます。</p> |
| 予習 Preparation for Class             | <p>文献を理解するまで繰り返し読む。<br/>提出課題(文献の内容を要約し、評価する)を準備する。(必要想定時間 約2時間)</p>   |

|                                 |  |
|---------------------------------|--|
| 復習 Review of Class              | 文献講読で議論したことを整理し、復習する。<br>各自のゼミ論研究を並行して進める。(必要想定時間 約2時間)  |
| 授業に関する注意事項<br>Remarks for Class | 配布資料等は当日の講義時以外では配布しません。万が一欠席した場合、各自で講義内容や資料を確保して下さい。   |
| 教科書 Texts                       | アーリ(2015)『モビリティーズ』作品社など  |
| 参考書 Reference Books             | 大橋他(2014)『観光学ガイドブック』ナカニシヤ出版<br>白井利明・高橋一郎(2009[2008])『よくわかる卒論の書き方』ミネルヴァ書房<br>石黒圭(2017[2012])『この1冊できちんと書ける！論文・レポートの基本』日本実業出版社など。 |
| 成績評価の基準<br>Evaluation Criteria  | 文献講読発表や各種報告:30%<br>授業への参加状況:30%<br>提出物:40%   |
| 関連URL Related URL               | なし   |
| 備考 Notes                        | 【オフィスアワー・研究室】 金曜日3限(要事前予約) 1号館1510室  |
| 添付ファイルの注意事項 Notice              |  |
| 更新日時 Date of Update             | 2018年03月15日 15時19分13秒  |

戻る(X)

# シラバス検索 照会画面

シラバス検索画面    結果一覧画面    照会画面

## シラバス情報

### 授業情報

|                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| 授業コード Course Code                    | 2MC6113000   |
| 授業開講年度 Year of Class                 | 2018年度   |
| 授業形態 Course Mode                     | 演習   |
| 授業名称 Class Name                      | 4002演習3B   |
| テーマ Theme                            |  |
| 代表科目名 Name of Representative Subject | 4002演習3B   |
| 履修期 Term                             | 秋学期  |
| 教員氏名 Name of Teacher                 | 高原 孝生  |
| 開講キャンパス Campus                       | 横浜   |
| 曜時 Day and Period                    | 月曜2時限(秋学期)   |
| 授業概要 Course Description              | 少人数指導の下で、演習テーマに沿った講読を通じて、専門学習を進める。併行して、それぞれのテーマに沿った卒論テーマのプレゼンを随時おこなう。  |
| 学習目標 Class Goals                     | 演習テーマと関連する自己の課題を設定し、より深い学習を行うとともに、卒業論文の執筆を準備する。  |
| 授業計画 Daily Class Schedule            | <p>【第1回】導入</p> <p>【第2回】講読と卒論プレゼン1</p> <p>【第3回】講読と卒論プレゼン2</p> <p>【第4回】講読と卒論プレゼン3</p> <p>【第5回】講読と卒論プレゼン4</p> <p>【第6回】講読と卒論プレゼン5</p> <p>【第7回】講読と卒論プレゼン6</p> <p>【第8回】卒論プレゼン1</p> <p>【第9回】卒論プレゼン2</p> <p>【第10回】卒論プレゼン3</p> <p>【第11回】卒論プレゼン4</p> <p>【第12回】卒論プレゼン5</p> <p>【第13回】卒論プレゼン6</p> <p>【第14回】振り返りと到達度の確認1</p> <p>【第15回】振り返りと到達度の確認2</p> |
| 予習 Preparation for Class             | 講読文献の下調べ。報告担当者はレジュメづくり。(想定必要時間:3時間)  |
| 復習 Review of Class                   | 演習での学びを顧みて確認し、さらに不明な点を調べる。(想定必要時間:1時間)   |
| 授業に関する注意事項 Remarks for Class         | 就職活動のための欠席は、レポート等、別のかたちで補う。  |
| 教科書 Texts                            | 長谷川毅『暗闘』他、多数を指示する。   |
| 参考書 Reference Books                  | 新崎盛暉『沖縄現代史』他、多数を指示する。  |
|                                      |  |

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 成績評価の基準<br>Evaluation Criteria | 授業の理解をふまえた平常点(授業への参加度50%および、提出物や発言等にみられる学習による知識等の向上50%) |
| 関連URL Related<br>URL           |   |
| 備考 Notes                       |   |
| 添付ファイルの注意<br>事項 Notice         |   |
| 更新日時 Date<br>of Update         | 2018年02月23日 12時26分08秒                                   |

戻る(X)

# シラバス検索 照会画面

シラバス検索画面 結果一覧画面 照会画面

## シラバス情報

### 授業情報

|                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| 授業コード Course Code                    | 2MC6105000   |
| 授業開講年度 Year of Class                 | 2018年度   |
| 授業形態 Course Mode                     | 演習   |
| 授業名称 Class Name                      | 4002演習3B   |
| テーマ Theme                            |  |
| 代表科目名 Name of Representative Subject | 4002演習3B   |
| 履修期 Term                             | 秋学期  |
| 教員氏名 Name of Teacher                 | 大川 玲子  |
| 開講キャンパス Campus                       | 横浜   |
| 曜時 Day and Period                    | 月曜2時限(秋学期)   |
| 授業概要 Course Description              | イスラームという宗教体系の思想と文化を考える。主に以下のようなテーマを学び、ゼミ内で論じる。(1)聖典クルアーン(コーラン)と伝承(ハディース)、(2)伝統的な思想(神学、哲学、法学、スンナ派・シーア派、神秘主義)、(3)近現代以降生じた思想(サラフィー主義、イスラーム主義など)、(4)宗教儀礼(断食、巡礼など)、(5)日常生活(礼拝、モスクなど)、(6)宗教者と宗教教育(ウラマー、宗教学校、留学など)。   |
| 学習目標 Class Goals                     | ムスリムの行動や思想は多様であるが、まずは、その背景にある共通する世界観を理解する必要がある。これをふまえた上で、現実に生じている多様な事柄のなかから自分自身の関心事を見つけ、深く掘り下げて考えていく。<br>演習2で執筆したゼミ論文を発展させる。中東現代について知見を深める。クルアーンを実際に翻訳で読む。   |
| 授業計画 Daily Class Schedule            | 【第1回】ガイダンス<br>【第2回】卒論経過報告・相談会<br>【第3回】『クルアーン(コーラン)』関連文献講読<br>【第4回】『クルアーン(コーラン)』原典講読<br>【第5回】同上<br>【第6回】同上<br>【第7回】映像資料・関連資料講読<br>【第8回】映像資料<br>【第9回】映像資料・関連資料講読<br>【第10回】同上<br>【第11回】卒論経過報告・相談会<br>【第12回】文献講読、卒論相談<br>【第13回】同上<br>【第14回】同上<br>【第15回】総括<br>(変更になる場合があります。) |
| 予習 Preparation for Class             | 文献講読、要約作成、報告会準備など。(毎週2時間程度)  |
| 復習 Review of Class                   | 関連する文献を読み、論文作成を進める(毎週2時間程度)  |
|                                      | 「イスラム教文化論」や「西アジア地域研究」を受講していることが望ましい。   |

|                                 |  |
|---------------------------------|--|
| 授業に関する注意事項<br>Remarks for Class |  |
| 教科書 Texts                       | 井筒俊彦訳『コーラン』(全三巻,改訂版)岩波文庫、1964年<br>藤本勝次責任編集『コーラン』(全二巻)中央公論新社、2002年  |
| 参考書 Reference Books             | マイケル・クック(大川玲子訳)『コーラン』岩波書店、2005年<br>大川玲子『聖典「クルアーン」の思想 イスラームの世界観』講談社現代新書、2004年<br>小杉泰ほか編『イスラーム世界研究マニュアル』名古屋大学出版会、2008年   |
| 成績評価の基準<br>Evaluation Criteria  | 発言など授業参加(50%)、プレゼンテーション(20%)、レポート/論文(30%)。   |
| 関連URL Related URL               | <a href="http://fis.meijigakuin.ac.jp/ks-j/information/staff/okawa-reiko">http://fis.meijigakuin.ac.jp/ks-j/information/staff/okawa-reiko</a><br><a href="http://www.meijigakuin.ac.jp/~iism/shoinprofile/okawa.htm">http://www.meijigakuin.ac.jp/~iism/shoinprofile/okawa.htm</a> |
| 備考 Notes                        |  |
| 添付ファイルの注意事項 Notice              |  |
| 更新日時 Date of Update             | 2018年01月29日 11時11分13秒  |

戻る(X)



# シラバス検索 照会画面

シラバス検索画面    結果一覧画面    照会画面

## シラバス情報

### 授業情報

|                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| 授業コード Course Code                    | 2MF3070000   |
| 授業開講年度 Year of Class                 | 2018年度   |
| 授業形態 Course Mode                     | 講義   |
| 授業名称 Class Name                      | KC3034Behavioral Economics and Public Policy   |
| テーマ Theme                            |  |
| 代表科目名 Name of Representative Subject | KC3034Behavioral Economics and Public Policy   |
| 履修期 Term                             | 秋学期  |
| 教員氏名 Name of Teacher                 | 李 嬋娟   |
| 開講キャンパス Campus                       | 横浜   |
| 曜時 Day and Period                    | 月曜2時限(秋学期)   |
| 授業概要 Course Description              | This course will analyze how economic and psychological factors affect the economic decisions of individuals, focusing on their bounded rationality. For example, why we surrender to the allure of the dessert cart right after we vow to diet? Each class is composed of two parts. For the first half, I will explain basic concepts and principles of Behavioral Economics. For the second half of the class, I will introduce one or two research articles which are well known in the related field, and we will discuss controversial research questions.   |
| 学習目標 Class Goals                     | A. To analyze individual behavioral decision applying the concepts of behavioral economics<br>B. To understand structures, analytical methods, and arguments of a well-cited research paper<br>C. To discuss how an individual's behavior changes using both theoretical and empirical evidence  |
| 授業計画 Daily Class Schedule            | <p>I . Standard Economic Model v. Behavioral Economics<br/> <b>【Week1】</b>Introduction to the Course<br/> <b>【Week2】</b>Standard Economic Model &amp; Bounded Rationality<br/> <b>【Week3】</b>Selfish Reasoning &amp; Fairness: Lessons from Dictator Game<br/> (People care about relative outcomes: "Why should I get less than him")</p> <p>II . Examples of Bounded Rationality<br/> <b>【Week4】</b>Revealed Preference and Utility &amp; Anchoring Effect<br/> (More options are good? No, you will be easily distracted)<br/> <b>【Week5】</b>Fundamental Theorem of Consumption Theory &amp; Fallacy of Supply and Demand<br/> (You have no clue for what a given object is worth to you)<br/> <b>【Week6】</b>Consumers' Willingness to Pay &amp; Decoy Effect<br/> (Starbucks' Strategy to charge a lot more for coffee)</p> <p>III . Prospect Theory and Inconsistent Time Preferences<br/> <b>【Week7】</b>Probability in Statistics &amp; Choices Involving Risk<br/> (Which basketball player has a higher probability of making a successful shot?)<br/> <b>【Week8】</b>Allais's Paradox Prospect Theory &amp; Loss Aversion<br/> (People are more motivated by avoiding a loss than acquiring a similar gain)<br/> <b>【Week9】</b>Time Discount Rate &amp; Procrastinators and Self-Control<br/> (We vow to diet, but we surrender to the allure of the dessert cart)<br/> <b>【Week10】</b>Hyperbolic Discounting<br/> (We promise to save for retirement, but we spend the money on a vacation)</p> |

|                                 |  |
|---------------------------------|--|
|                                 | <p>IV. Integration of Other Academic Studies</p> <p>【Week11】Social Norms v. Market Norms<br/>(We are happy to do things for others, but not when we are paid to do so)</p> <p>【Week12】Happiness, Relative Income Inequality<br/>(Country which Cares about Inequality and Which Does Not)</p> <p>【Week13】The recognition of the income gap and in their attitudes:<br/>(Luck and Effort, which is more important to succeed in the labor market?)</p> <p>【Week14】Culture and Economy<br/>(Belief in heaven and hell affects the economic growth?)</p> <p>【Week15】Review and Evaluation</p> |
| 予習 Preparation for Class        | Students need to complete the assigned readings and prepare questions / topics for the in-class discussion sections.   |
| 復習 Review of Class              | There will be a weekly quiz. The question sets will be provided in advance. Please review the lecture slides and the given articles to prepare for quizzes and final report.   |
| 授業に関する注意事項<br>Remarks for Class | This course is in upper division of Economics Program.<br>Prerequisites: KC-2102 (Introduction to Economics A) or Consent of Instructor.   |
| 教科書 Texts                       | Lecture notes and reading materials will be distributed in class.  |
| 参考書 Reference Books             | To be uploaded to the course Web   |
| 成績評価の基準<br>Evaluation Criteria  | Participation in class discussions (10%)<br>Quizzes(40%)<br>Final Report (50%)   |
| 関連URL Related URL               |  |
| 備考 Notes                        | Daily class schedule and class activities can be adjusted depending on students' performance.  |
| 添付ファイルの注意事項<br>Notice           |  |
| 更新日時 Date of Update             | 2018年02月13日 17時00分08秒  |

戻る(X)

# シラバス検索 照会画面

シラバス検索画面    結果一覧画面    照会画面

## シラバス情報

### 授業情報

|                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| 授業コード Course Code                    | 2MF3000000  |
| 授業開講年度 Year of Class                 | 2018年度  |
| 授業形態 Course Mode                     | 講義  |
| 授業名称 Class Name                      | KC3000International Disputes Settlement Procedures  |
| テーマ Theme                            |   |
| 代表科目名 Name of Representative Subject | KC3000International Disputes Settlement Procedures  |
| 履修期 Term                             | 秋学期   |
| 教員氏名 Name of Teacher                 | 下谷内 奈緒  |
| 開講キャンパス Campus                       | 横浜  |
| 曜時 Day and Period                    | 月曜2時限(秋学期), 木曜2時限(秋学期)  |
| 授業概要 Course Description              | This course introduces students to key international dispute settlement procedures, both legal and political, through in-depth examinations of two cases: the North Korean Nuclear Crisis and the Rwandan Genocide (other relevant cases will be discussed along the way). Emphasis is placed on the nexus between international law and politics.  |
| 学習目標 Class Goals                     | By the end of the course, students are expected to understand basic international mechanisms for resolving conflict peacefully.   |
| 授業計画 Daily Class Schedule            | <p>【第1回】Introduction and Course Overview</p> <p>【第2回】Basic principles of international dispute settlement</p> <p>【第3回】Resolving the North Korean Nuclear Crisis: Diplomacy (1)</p> <p>【第4回】Resolving the North Korean Nuclear Crisis: Diplomacy (2)</p> <p>【第5回】Resolving the North Korean Nuclear Crisis: UN Security Council (1)</p> <p>【第6回】Resolving the North Korean Nuclear Crisis: UN Security Council (2)</p> <p>【第7回】Resolving the North Korean Nuclear Crisis: International Law (1)</p> <p>【第8回】Resolving the North Korean Nuclear Crisis: International Law (2)</p> <p>【第9回】Resolving the North Korean Nuclear Crisis: Private Initiative</p> <p>【第10回】Resolving the North Korean Nuclear Crisis: Summary</p> <p>【第11回】Resolving the North Korean Nuclear Crisis: Presentation &amp; Discussion (1)</p> <p>【第12回】Resolving the North Korean Nuclear Crisis: Presentation &amp; Discussion (2)</p> <p>【第13回】Coping with the Rwandan Genocide: What is Genocide?</p> <p>【第14回】Coping with the Rwandan Genocide: Politics of Genocide</p> <p>【第15回】Coping with the Rwandan Genocide: Peacekeeping (1)</p> <p>【第16回】Coping with the Rwandan Genocide: Peacekeeping (2)</p> <p>【第17回】Coping with the Rwandan Genocide: International Criminal Justice (1)</p> <p>【第18回】Coping with the Rwandan Genocide: International Criminal Justice (2)</p> <p>【第19回】Coping with the Rwandan Genocide: Local Justice (1)</p> <p>【第20回】Coping with the Rwandan Genocide: Local Justice (2)</p> <p>【第21回】Coping with the Rwandan Genocide: Summary</p> <p>【第22回】Coping with the Rwandan Genocide: Presentation &amp; Discussion (1)</p> <p>【第23回】Coping with the Rwandan Genocide: Presentation &amp; Discussion (2)</p> <p>【第24回】International Relations and International Law (1)</p> <p>【第25回】International Relations and International Law (2)</p> <p>【第26回】Universalism and Particularism (1)</p> <p>【第27回】Universalism and Particularism (2)</p> |

|                                 |   |
|---------------------------------|---|
|                                 | <b>【第28回】Discussion (1)</b><br><b>【第29回】Discussion (2)</b><br><b>【第30回】Course Review</b>                                  |
| 予習 Preparation for Class        | Students are expected to read the assigned readings and come prepared to give a presentation each week (approx. 4 hours). |
| 復習 Review of Class              | Students are expected to review readings and prepare policy papers (approx. 4 hours).                                     |
| 授業に関する注意事項<br>Remarks for Class | The class will be run as a combination of lecture and seminar-style discussion.   |
| 教科書 Texts                       | To be announced in class.   |
| 参考書 Reference Books             | J.G. Merrills, International Dispute Settlement 6th ed. (Cambridge University Press, 2017)                                |
| 成績評価の基準<br>Evaluation Criteria  | Presentations 20%<br>Discussion 20%<br>Policy Papers 30%<br>Final Report 30%  |
| 関連URL Related URL               |   |
| 備考 Notes                        |   |
| 添付ファイルの注意事項 Notice              |   |
| 更新日時 Date of Update             | 2018年03月01日 15時03分59秒   |

戻る(X)

# シラバス検索 照会画面

シラバス検索画面 結果一覧画面 照会画面

## シラバス情報

### 授業情報

|                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| 授業コード Course Code                    | 2MF2025000  |
| 授業開講年度 Year of Class                 | 2018年度  |
| 授業形態 Course Mode                     | 講義  |
| 授業名称 Class Name                      | KC2103Introduction to Economics B   |
| テーマ Theme                            |   |
| 代表科目名 Name of Representative Subject | KC2103Introduction to Economics B   |
| 履修期 Term                             | 秋学期   |
| 教員氏名 Name of Teacher                 | 阿部 望  |
| 開講キャンパス Campus                       | 横浜  |
| 曜時 Day and Period                    | 月曜2時限(秋学期)  |
| 授業概要 Course Description              | This is an introductory course in Macroeconomics. Topics include: Basic concepts of macroeconomics; Consumption and investment; Business cycle and aggregate demand; Money and financial system; Economic growth; Open economy; Unemployment, etc.  |
| 学習目標 Class Goals                     | 1) To Apply economic analysis to evaluate everyday problems<br>2) To Communicate effectively in written and spoken form about specific economic issues<br>3) To Understand and evaluate current economic topics   |
| 授業計画 Daily Class Schedule            | Week 1: Guidance and Introduction<br>Week 2: Overview of Macroeconomics (Read Chapter 19)<br>Week 3: Measuring Economic Activity (Read Chapter 20)<br>Week 4: Consumption and Investment (Read Chapter 21)<br>Week 5: Business Cycle and Aggregate Demand (Read Chapter 22)<br>Week 6: Money and the Financial System (Read Chapter 23)<br>Week 7: Monetary Policy and the Economy (Read Chapter 24)<br>Week 8: Summary Presentation and Discussion 1<br>Week 9: Economic Growth (Read Chapter 25)<br>Week 10: The Challenge of Economic Development (Read Chapter 26)<br>Week 11: Exchange Rates and the International Financial System (Read Chapter 27)<br>Week 12: Open-Economy Macroeconomics (Read Chapter 28)<br>Week 13: Unemployment and the Foundations of Aggregate Supply (Read Chapter 29)<br>Week 14: Summary Presentation and Discussion 2<br>Week 15: Class Assessment & Review |
| 予習 Preparation for Class             | Students are required to read the text which is available on the Webpage in advance. 2 hours to be spent at each session.   |
| 復習 Review of Class                   | Students are recommended to answer the Questions For Discussion presented at the last pages of each Chapter. 2 hours to be spent at each session.   |
| 授業に関する注意事項 Remarks for Class         | Students are advised to pay attention to economic news and to read newspaper articles on economic topics on a daily basis.  |
| 教科書 Texts                            | P. A. Samuelson and W. D. Nordhaus, Economics 19th edition, McGraw Hill, 2010, (Chapter 19 to Chapter 29)   |
|                                      | None specified.   |

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 参考書 Reference Books            |   |
| 成績評価の基準<br>Evaluation Criteria | 40% - Final Examination<br>20% - Summary Presentation and Discussion 1 (including a mid-term report)<br>20% - Summary Presentation and Discussion 2 (including a mid-term report)<br>20% - Session participation and discussion |
| 関連URL Related URL              |   |
| 備考 Notes                       |   |
| 添付ファイルの注意<br>事項 Notice         |   |
| 更新日時 Date<br>of Update         | 2018年03月08日 10時26分00秒   |

戻る(X)

# シラバス検索 照会画面

シラバス検索画面    結果一覧画面    照会画面

## シラバス情報

### 授業情報

|                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| 授業コード Course Code                    | 2MF1250000   |
| 授業開講年度 Year of Class                 | 2018年度   |
| 授業形態 Course Mode                     | 講義   |
| 授業名称 Class Name                      | KC1215Presentation & Seminar Skills 1B/KC1203Academic & Seminar Skills 1B(11-14)   |
| テーマ Theme                            |  |
| 代表科目名 Name of Representative Subject | KC1215Presentation & Seminar Skills 1B   |
| 履修期 Term                             | 秋学期  |
| 教員氏名 Name of Teacher                 | KUWAYAMA Shunsuke  |
| 開講キャンパス Campus                       | 横浜   |
| 曜時 Day and Period                    | 月曜2時限(秋学期), 木曜2時限(秋学期)   |
| 授業概要 Course Description              | This course serves as a bridge from high school to university and to overseas studies. The course aims to equip students with skills and dispositions to succeed in the university.  |
| 学習目標 Class Goals                     | Develop the students' self-awareness and self-advocacy to enhance their active and independent learning skills; focus on critical thinking, listening and note-taking skills, academic discussion skills, speech and presentation skills, and conscious knowledge of English grammar; and equip students to pass the TOEFL requirement to study abroad or participate in overseas internship.  |
| 授業計画 Daily Class Schedule            | <p>【第1回】Course Overview; Review - Independent speech</p> <p>【第2回】Review - Lecture note-taking</p> <p>【第3回】Review - Integrate speech</p> <p>【第4回】Introduction to debate; Affirmative Constructive Speech</p> <p>【第5回】Affirmative Constructive Speech</p> <p>【第6回】Negative Constructive Speech</p> <p>【第7回】Negative Constructive Speech</p> <p>【第8回】Debate format; Flow notes</p> <p>【第9回】Debate practice</p> <p>【第10回】Refutation; Rebuttal</p> <p>【第11回】Asking and responding to questions</p> <p>【第12回】Review</p> <p>【第13回】Debate preparation</p> <p>【第14回】Debate preparation</p> <p>【第15回】Debates</p> <p>【第16回】Debates</p> <p>【第17回】Inter-class Debate</p> <p>【第18回】Review</p> <p>【第19回】Academic discussions</p> <p>【第20回】Academic discussions</p> <p>【第21回】Presentation preparation</p> <p>【第22回】Presentation preparation</p> <p>【第23回】Presentations</p> <p>【第24回】Presentations</p> <p>【第25回】Presentations</p> <p>【第26回】Speeches</p> |

|                                 |   |
|---------------------------------|---|
|                                 | <p>【第27回】Speeches<br/> 【第28回】Speeches<br/> 【第29回】Review<br/> 【第30回】Summary</p>  |
| 予習 Preparation for Class        | Students should spend a minimum of 120 minutes to complete assigned texts and materials, taking notes, to obtain adequate scores on comprehension and content quizzes, and to participate effectively in discussion and other tasks.                      |
| 復習 Review of Class              | Students should spend a minimum of 120 minutes to review class notes and complete assignments to demonstrate mastery of the class content.  |
| 授業に関する注意事項<br>Remarks for Class | All students, regardless of their English language levels, must speak English at all times. No more than two undocumentable/unexcused absences are allowed. Absence over two classes is grounds for failure. Tardiness of three times equals one absence. |
| 教科書 Texts                       | to be determined  |
| 参考書 Reference Books             | English dictionary  |
| 成績評価の基準<br>Evaluation Criteria  | Midterm and Final exam 30 percent<br>TOEFL (min. 550) 20 percent<br>Other Requirements 50 percent   |
| 関連URL Related URL               |   |
| 備考 Notes                        | Students who stop coming to class after the first 6 classes will fail their course and get a D. Students are expected to obtain the score of 550 to pass the TOEFL requirement of this course. Office Hours: By appointment. Contact instructor.          |
| 添付ファイルの注意事項<br>Notice           |   |
| 更新日時 Date of Update             | 2018年03月13日 16時03分10秒   |

戻る(X)



# シラバス検索 照会画面

シラバス検索画面 結果一覧画面 照会画面

## シラバス情報

### 授業情報

|                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| 授業コード Course Code                    | 2NF1070000  |
| 授業開講年度 Year of Class                 | 2018年度  |
| 授業形態 Course Mode                     | 講義  |
| 授業名称 Class Name                      | 生活  |
| テーマ Theme                            |   |
| 代表科目名 Name of Representative Subject | 生活  |
| 履修期 Term                             | 秋学期   |
| 教員氏名 Name of Teacher                 | 松永 あけみ  |
| 開講キャンパス Campus                       | 横浜  |
| 曜時 Day and Period                    | 月曜2時限(秋学期)  |
| 授業概要 Course Description              | 生活科の趣旨や特性など生活科の本質を理解するとともに、生活科の目標および学習指導要領の9つの教育内容を理解する。授業は、視聴覚教材の使用や生活科の授業で多く用いられるグループ学習を中心としたアクティブ・ラーニングを取り入れ、生活科の授業内容が具体的にイメージできるようにする。さらに、幼児教育や他教科および中学年以降の学習との関連についても考察する。   |
| 学習目標 Class Goals                     | 生活科の趣旨、特性、目標および教育内容について理解する。<br>生活科授業の具体的なイメージが持てるようになる。<br>幼児教育や他教科および中学年以降の学習とのつながりを理解する。   |
| 授業計画 Daily Class Schedule            | 【第1回】オリエンテーション<br>【第2回】生活科の学びの特性と目標および教育内容の構成について<br>【第3回】低学年児童の発達特性<br>【第4回】幼児教育とのつながり スタートカリキュラムについて<br>【第5回】主体的な活動を通しての学びと児童理解<br>【第6回】生活科の内容1 学校と生活(グループ学習)<br>【第7回】生活科の内容2 家庭と生活(グループ学習)<br>【第8回】生活科の内容3 地域と生活(グループ学習)<br>【第9回】生活科の内容4 公共物や公共施設の利用(グループ学習)<br>【第10回】生活科の内容5 季節の変化と生活(グループ学習)<br>【第11回】生活科の内容6 自然や物を使った遊び(グループ学習)<br>【第12回】生活科の内容7 動植物の飼育・栽培(グループ学習)<br>【第13回】生活科の内容8 生活や出来事の交流(グループ学習)<br>【第14回】生活科の内容9 自分の成長(グループ学習)<br>【第15回】まとめと他教科および中学年以降の学習とのつながり(試験を含む) |
| 予習 Preparation for Class             | 教科書の次週の授業内容に関連する項目を熟読しておくこと(想定必要時間:2時間)   |
| 復習 Review of Class                   | 毎回、授業内容を各自で整理すること(想定必要時間:2時間)   |
| 授業に関する注意事項 Remarks for Class         | 毎回、リアクションペーパーの提出を求めます。<br>授業は、グループ学習によるアクティブラーニングが中心となりますので、受講者の積極的参加が必要になります。  |
| 教科書 Texts                            |   |

|                             |  |
|-----------------------------|--|
|                             | 小学校学習指導要領解説 生活編(平成29年3月告示版)<br>未刊の場合は、文部科学省ホームページより、ダウンロードすること |
| 参考書 Reference Books         | 授業時に必要の応じて、適宜紹介する。   |
| 成績評価の基準 Evaluation Criteria | テスト50%、授業への参加・貢献度20%、毎時のリアクションペーパー30%                          |
| 関連URL Related URL           |  |
| 備考 Notes                    |  |
| 添付ファイルの注意事項 Notice          |  |
| 更新日時 Date of Update         | 2018年03月07日 17時29分08秒  |

戻る(X)